

インドネシアCDMプロジェクトにおける日本政府承認の取得について

当社は、地球温暖化防止に向けた取り組みとして、インドネシア国ジャワ地域における小水力発電による温室効果ガス削減プロジェクトに参加することとし、本年2月、経済産業省、環境省に対し日本の企業が参加するCDMプロジェクトとしての日本政府承認申請を行っていましたが、3月8日、日本政府承認を取得しましたのでお知らせいたします。

本プロジェクトは、当社がこれまでに培った水力発電に関する技術を活かし、インドネシアパワー社(本社:ジャカルタ, 社長:アビマニュ・スヨソ(Abimanyu Suyoso)氏)とともに案件を発掘し、技術調査等を行ったプロジェクトです。

本プロジェクトについては、昨年9月20日にインドネシア側のパートナーであるインドネシアパワー社社長ほか来社され、CO₂排出権売買契約を締結しました。

今後、インドネシア政府の承認を取得した後、国際連合の定める手続きを進め、CDMプロジェクトとして正式に登録を行う予定としています。

なお、本プロジェクトは、財団法人地球環境センター(GEC)の平成17年度温暖化対策クリーン開発メカニズム事業調査(CDM/JI事業調査)に採択され、可能性調査を行ったものです。

※CDM:クリーン開発メカニズム

先進国が開発途上国と共同で、開発途上国内で実施した温室効果ガスの排出削減プロジェクトにより生じた削減量について、先進国の削減量に充当する制度

※JI:共同実施

先進国同士が共同で実施した温室効果ガス削減プロジェクトにより生じた削減量について、当事者間で分配する制度

以上

【添付資料】

 別紙1: [プロジェクトの概要](#)

 別紙2: [プロジェクト地点説明図](#)[PDF:74KB]

 別紙3: [クリーン開発メカニズム\(CDM\)プロジェクトの流れ](#)[PDF:90KB]

プロジェクトの概要

1. 名称

シテキ, プルムブンガン, ケッテンゲル#4, チレウンチャ小水力発電プロジェクト

2. 概要

インドネシア国ジャワ地域に位置する4地点:(1)シテキ(Siteki)(2)プルムブンガン(Plumbungan)(3)ケッテンゲル#4(Ketenger #4)(4)チレウンチャ(Cileunca)の灌漑水路等の未利用落差を利用して, 水力発電事業を行い, 出力合計4,300kW, 年間発生電力量約2,800万kWhの電力を得るものです。

発電される電力は全量インドネシア国営電力公社(PT.PLN)に販売される計画であることから, 火力発電所の焚き減らし効果によるCO₂排出量の削減が期待できます。

(1), (2)・・・GECの「CDM/ JI事業調査」対象地点

(3), (4)・・・インドネシアパワー社と共同調査地点

3. 発生排出権量

約21,000t-CO₂/年

4. 事業開始時期

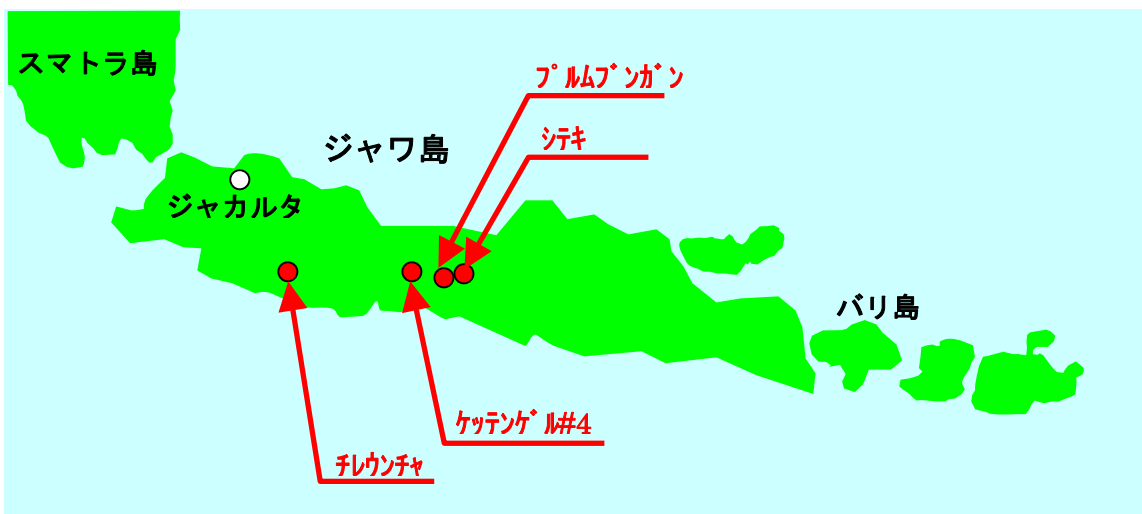
2008年1月

※ GEC「CDM/ JI事業調査」

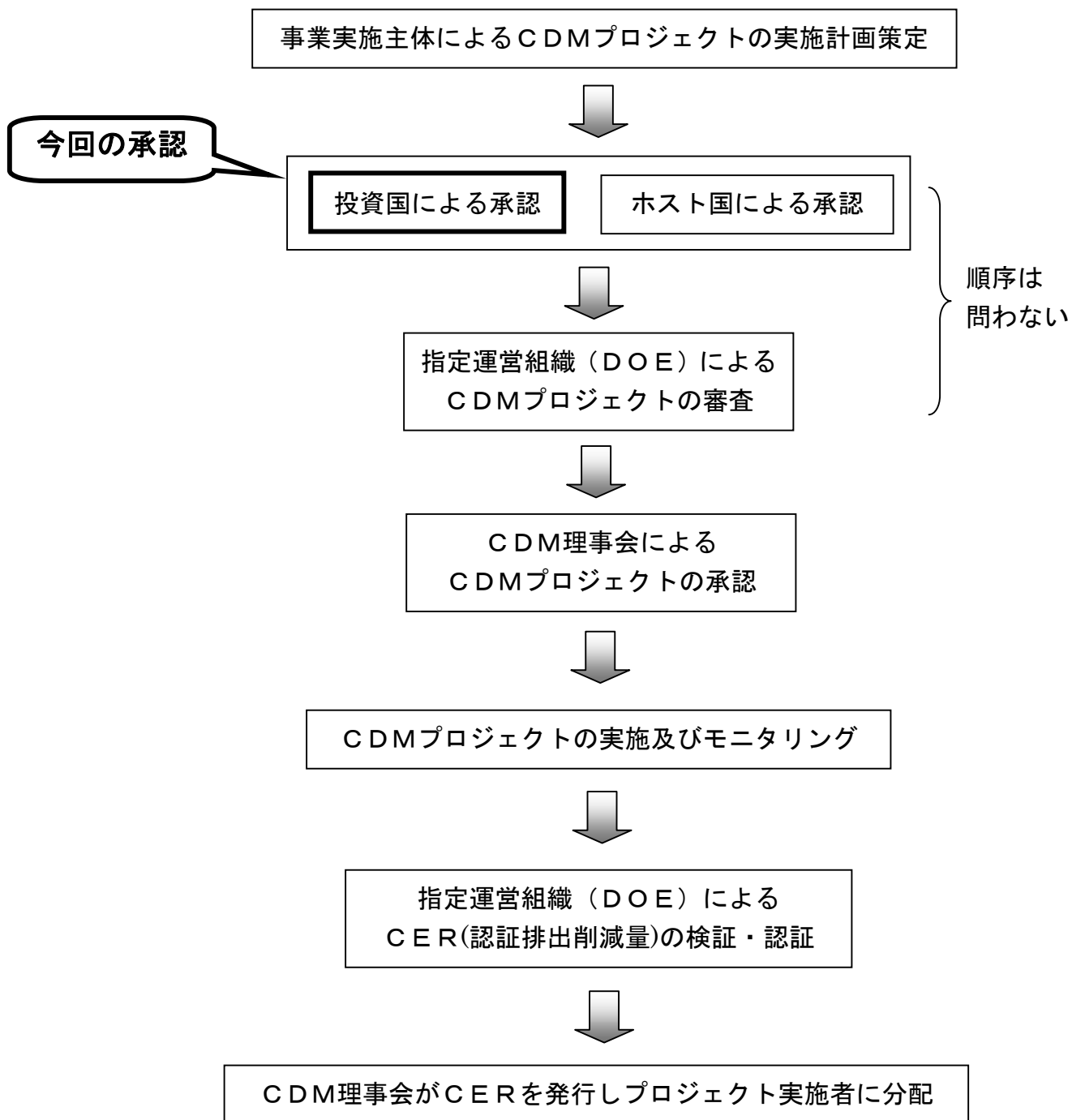
将来的に「クリーン開発メカニズム(CDM)」、「共同実施(JI)」として, 温室効果ガスの排出削減や吸収源強化につながると考えられる効果の高いプロジェクトの発掘を目的に, GECが環境省の委託を受け, その調査案件を公募したものの。

当社は2005年7月～2006年3月の間に, シテキ(Siteki), プルムブンガン(Plumbungan)を含む8地点について小水力発電プロジェクトに関する事業化可能性調査(インドネシア国バンジャチャヤナ灌漑水路における統合小水力開発基礎調査)を実施した。

プロジェクト地点説明図



クリーン開発メカニズム（CDM）プロジェクトの流れ



※指定運営組織（DOE）：CDM 理事会が認定する第三者機関